



平成 29 年 4 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社放電精密加工研究所
代 表 者 名 代表取締役社長 二村 勝彦
(コード番号 6469)
問合せ先責任者
役職・氏名 取締役執行役員管理部長
大村 亮
電 話 046-250-3951

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、このたび 2018 年 2 月期（第 57 期）から 2020 年 2 月期（第 59 期）までの 3 ヶ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画ローリングについて

中期経営計画は 3 ヶ年の環境変化等を想定して策定するものですが、環境の変化に機敏に対応すべく、毎年のローリング（中期経営計画の再策定）を実施します。なお、年度でのローリング実施を基本といたしますが、大きな環境変化が認識される場合には、期中でのローリングを実施することといたします。

2. 中期経営計画基本方針

当社グループは、「新たな成長ステージへの挑戦」をスローガンとして掲げ、新しい事業領域として民間航空機エンジン部品事業をスタートしました。さらに既存事業をより磐石なものとし、新規事業・新規アイテム拡販への礎を築くべく積極的な事業展開を図り、高い成長の持続を目指し、今までのビジネスモデルである受託加工から、航空機エンジン部品事業を始めとする新しいビジネスモデルとして部品メーカーへの転換を目指します。

3. 中期計画の業績目標（連結）

単位：百万円

	2017 年 2 月期 実績	2018 年 2 月期 業績予想	2019 年 2 月期 計画	2020 年 2 月期 計画
売上高	10,067	10,790	12,552	13,361
営業利益	381	419	1,087	1,364
経常利益	400	400	1,103	1,375
当期純利益	237	231	697	865

2018年2月期につきましては、中期経営計画の主軸となる既存事業を取り巻く経営環境が変化している状況や2017年2月17日に発生しました当社成田事業所の爆発火災事故による影響などを勘案し、利益は一時的に減少する見込みです。ただし、新規事業の航空機エンジン部品事業の低圧タービンプレードにつきましては各種認証取得も進み、2017年2月期後半から本格生産を開始し、2018年2月期は黒字化する見通しであります。また、航空機エンジンの圧縮機・燃焼器部品につきましては、一部の認証取得に遅れが発生しておりますが、認証を取得したもののから随時生産を開始しており、本格生産に向けた準備を進めております。

2019年2月期以降につきましては、航空機エンジン部品事業をはじめ、自動車排気ガス浄化用のセラミックスハニカム押出用金型なども順調に推移するものと見ております。

この中期経営計画は、本資料策定時点において入手可能な情報に基づいて策定したものです。実際の業績などは、今後さまざまな要因によって記載内容と異なる可能性があります。また、2017年2月17日に発生した当社成田事業所の爆発火災事故に関連し、今後、取引先に対する補償または費用の負担が発生する可能性があります。上記の中期経営計画には織り込んでおりません。

以上